

『國學院大學 教育開発推進機構紀要』投稿規程

The Bulletin of Institute for the Advancement of Teaching and Learning
KOKUGAKUIN UNIVERSITY
Manuscript Submission Guidelines

1. 本誌は、広く大学教育、高等教育に関する論文等を編集刊行し、大学・高等教育研究及び本学の教育研究活動の発展に資することを目的とする。
2. 投稿資格を有する者は、國學院大學専任教員・兼任講師・職員（専任・嘱託の別は問わない）の他、編集委員会が認めた者とする。
3. 論稿を投稿する者は、7月末日正午までに教育開発推進機構紀要編集委員会（iatl-kiyou*
kokugakuin.ac.jp *を@に変えてください）に電子メールにてエントリーを行うこととする。
エントリーに際しては、氏名、所属（学部）、論文題目（仮題可）、概要及び下記に掲げる内容種別を明記することとする。
4. 投稿を受け付ける論稿の内容種別は、以下の【1】～【3】とする。この他、編集委員会の指示により、本機構の教育研究活動に関する記事、講演録、さらには編集委員会が認めた者の論稿を掲載する。

【1】研究論文

先行研究を広く検討し、適切に位置付けた上で、分析方法やその知見に新規性や独創性があり、理論的、実証的かつ有用性が認められるオリジナルな論文（査読有り）。

【2】研究ノート

研究の中間報告の側面が強いものの、一定の新規性や独創性が見られ、有用性も認められるオリジナルな論文（査読有り）。

【3】取り組みレポート

授業等の教育実践に関する取組の報告（査読無し）。

論稿はすべて未発表のものとする。ただし講演、口頭発表、その他配布資料等はこの限りではない。

5. 投稿された論稿は、編集委員会の責任のもとで査読を行う。編集委員会はその結果を参考にしつつ、最終的にはその合議によって掲載の可否を決定する。
6. 査読規程は、編集委員会が別に定める。ただし評価の観点は、独創性・新規性、有用性、位置付け、論理性、形式・体裁の5つの観点とする。
7. 論稿は、以下の要領及びウェブサイトに掲載したテンプレートに従い作成するものとする。

【研究論文・研究ノート・取り組みレポート】

- 原則として和文または英文とし、共通して Word ファイル A4 判横書き、50 字×40 行とする。
- 分量は、研究論文が 400 字詰原稿用紙換算 30 枚～50 枚程度（図版・写真等を含む）、研究ノートが 400 字詰原稿用紙換算 20 枚～30 枚程度（図版・写真等を含む）、取り組みレポートが 400 字詰原稿用紙換算 15 枚～30 枚程度（図版・写真等を含む）とする。なおこの分量には表題、著者名、論文要旨（日本語 400～500 字程度、キーワード 3～5 語）を含むが、英文要旨は含まない。

- フォントは(和)MS明朝、(英)Times New Roman、Centuryとし、ポイントは10.5とする。
 - 和文には句読点(「。」や「、」)を用いる。コンマ、ピリオドは使用しない。
 - 現代仮名遣い使用を原則とする。ただし、商標登録されている名称および固有名詞(人名・地名)や常用漢字表にない文字については、正字体(旧字)や異体字、外国語の使用を認める。
 - 数字は、熟語・成語に含まれるもの以外は、アラビア数字を用いる。
 - 注及び参考文献は、論稿末に一括して記載する。
 - 参考文献の表記は、原則として次に挙げるとおりとする。ただし著者が適切と考える場合には、他の記述形式としても良い。
 - 本文中では、著者名(出版年)、または(著者名, 出版年)とする。なお同一著者の同一年の文献については、a、b、cとアルファベットを付記する。

(例)

中山(1945)の理論によれば、……
……現地調査の結果、その事実を発見したのである(中山, 1950)。
 - 論稿末の表記について、著者名のアルファベット順とし、通し番号はつけない。著者名、発行年(小括弧付)、書名(二重かぎ括弧付)、発行所(外国の場合には発行地)の順に、また雑誌の場合には、著者名、発表年(小括弧付)、論文表題(かぎ括弧付)、雑誌名(二重かぎ括弧付)、巻号数、論文所在ページの順に記す。

(例)

阿部美哉(1989)『大学の国際文化学』玉川大学出版部。
阿部美哉(1994)「英米における「外国語としての英語」の品質保証システム」『学位研究』(2)、pp.17-68。
寺崎昌男(2017)「思想の言葉 学部・学科の改称と変身:それをどうとらえるか」『思想』(1115)、pp.2-6。
 - 和文の本文中の外国人名は、通常片仮名書きとし、初出の時に原語を小括弧付で付す。
 - 投稿する論稿は、図表のレイアウト等も含めて、完成原稿で提出するものとする。校正の際は原則として誤字・脱字以外の訂正を認めないこととし、著者校正は初校のみとする。
 - 英文要旨はネイティブもしくは同等の者の校閲を経たものとし、テンプレートの書式に従って、別紙に作成し提出する。なお日本語要旨との整合性を保持することから、日本語要旨と合わせて提出すること(キーワードも同様)。
- 【本機構の教育研究活動に関する記事、講演録、その他編集委員会が認めた論稿】
- 原則として、上記の【研究論文・研究ノート・取り組みレポート】と同様の要領とする。ただし編集委員会の判断により、この限りではない。
8. 投稿の締切は毎年10月20日(日曜日の場合は翌日)とする。投稿後3日以内に受領確認のメールを返信する。なお投稿に際しては、以下に挙げる①～⑦の執筆者及び論稿に関する情報を記載した書面を別途作成するウェブサイトに掲載した『國學院大學教育開発推進機構紀要』投稿者情報記入用紙に必要事項を記入し、論稿(表題、著者名、日本語論文要旨を含む)、英文要旨と合わせて提出すること(合計3点)。

- ① 内容種別（研究論文・研究ノート・取り組みレポート）
- ② 論稿の表題（和文と英文）
- ③ キーワード5つ程度（和文と英文）
- ④ 著者名及びローマ字名（著者複数の場合は代表者を冒頭におく）
- ⑤ 所属（学部・機構・部局等）（著者複数の場合は全員の所属を明記する）
- ⑥ 連絡及び校正刷送付先（勤務先または自宅住所・郵便番号）・電話番号（著者複数の場合は執筆者全員）
- ⑦ 通常使用のファイル添付可能なメールアドレス（使用していなければ不要）（著者複数の場合は代表者のみ）

*採択通知等の諸連絡は電子メールを利用します

（電子メールを使用していなければ郵便もしくは電話となります）。

9. 本誌に掲載された著作物について、著作権は原則として著者本人に帰属する。但し、著者は著作権のうち複製権・公衆送信権について、國學院大學に委ねるものとする。
10. 著者は投稿にあたり、学生等の調査対象者または研究協力者に関わる資料やデータを使用するに際しては、当人の了解を得るとともに、その情報保護とプライバシーに十分に配慮するものとする。

[備考]

- 同一執筆者（共同研究の執筆者を含む）により投稿される論文（「研究論文」「研究ノート」）は、原則として1号につき1編のみを掲載することができます。
- 2年連続の掲載（同一タイトルによる連載）はできません。
- 投稿規程9に定める複製権・公衆送信権の委託に基づき、刊行された内容は、國學院大學の管理するWebサイト内において公開されます。

提出先

國學院大學教育開発推進機構（所在地については以下の「お問い合わせ先」を参照）

電子メールに添付するか、または郵送してください。

- 謝礼について：掲載誌3部を贈呈いたします。
- 採否について：内容種別【1】【2】の採否は本紀要編集委員会の指名する査読者による査読の上、編集委員会が決定し、通知いたします。同【3】については、編集委員会が内容や表記の修正を依頼する場合があります。いずれも応募原稿は返却いたしません。
- 発行は毎年3月1日を予定しております。

（附則）

本規程は、令和4年度発行予定の『國學院大學 教育開発推進機構紀要』（第14号）より施行する。

（令和4年6月8日一部改正）

【お問い合わせ先】

〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目10番28号

國學院大學 教育開発推進機構 百周年記念館1階

電話：03-5466-6744（内線448）FAX：03-5466-6742

E-mail（問い合わせ先）：iatl-kiyou@kokugakuin.ac.jp

担当：新井、富永